

Veil という名の本

BY

MIHOKO KOSUGI & YASUHIKO ANDO

Veil [veil]

-n. 1. ベール(普通は婦人が装飾的に用いる薄地のかぶりもの; 時には日除け・風除け、または、特に習慣的に顔を隠すために用いるかぶりもの) 2. a) (修道女の用いる)ベール。 b) [the~] 修道女の生活。 3. おおって(隠して)見えなくする物。 4. おおい隠す物(mask)、見せかけ、口実(pretence)。 5. (歌で声)が少々不明瞭になること。 6. (方言)=canal。 7. (写真)かすかな曇り。 8. (カトリック)=human veil。 9. (解剖・動物・植物)=velum。

beyond[behind] the veil
死後の世界に。
draw a[the] veil
…を隠す。
lift the veil
ベール(覆い)をとる。
pass the veil
幽界に入る、死ぬ。
with in the veil
=beyond[behind] the veil

-vt. 1. …にベールをかける、ベール(状の物)でおおう。
2. (見えないように)覆う、隠す(conceal)

Veil ……「薄布一影」

Veil は その背後に何物かを想起させる

それは 彼等の想いを 呼び起こし
その背後、向こう側へ と
想起を誘う。

しかし、また
Veil は その背後を想起させる
そのことで 自ら Veil となる
だろう

その後 Veil とは…

Veil それは「距離」——彼等
が 向こう側について語ることを
可能にする「距離」(対象化の
距離?)——をもたらす 想起
の空間 そのものとは言えない
だろうか

始めにあったのは
距離なのか それとも
一枚の Veil なのか…



RECORDING NO.7 "Veilという名の本"
(RECORDING NO.1"Veil")

鏡の むこう側とこちら側で
読まれゆく言葉
・・・Veil

―― "Veilという名の本"――

画廊内空間を"半分閉じられた一冊の本"として
提示する

- ・ 互いに絡み合う、三様の"会話の場"の形成
(写真 言葉 オブジェによる空間設定)
- ・ 画廊内空間に置かれる一冊の本 『Veil』
- ・ 『Veil』における空間と 画廊に設定された空間との
重なり・・・揺れ (一枚の写真を 通して)
- ・ Veil・・・覆うもの、覆いつつ暴くもの

小杉 美穂子
安藤 泰彦

dialogue 1





ほら みてごらん
あんなにくっきりと 樹の影

— あれは 影？

そう 窓の外の樹が カーテンの面に
その影をおとしている
葉の一枚一枚までが くっきりと映しだされて

— ええ きっと窓の外には
一本の樹が・・・

本“Veil”からの引用
(以下、グレーのページは、
ファイルの為に追加挿入したもの)



— 私は 影から目を離せない・・・
あの影の何が 私をとらえてしまうの？

身動きもせず あなたは影をみつめている
あの影の何が あなたをとらえてしまったのか？



何かノ影デアルコトカラ 逃レユク影
影ダケガ 逃レデテ
布ノ面デ 息ヅイテイル...



あなたは 何をみているのだろうか？

— 私は 影をみている
でも たぶん影だけを...



何かノ影デアルコトカラ 逃レヌク影

— むこう側には あるのかしら 樹が？

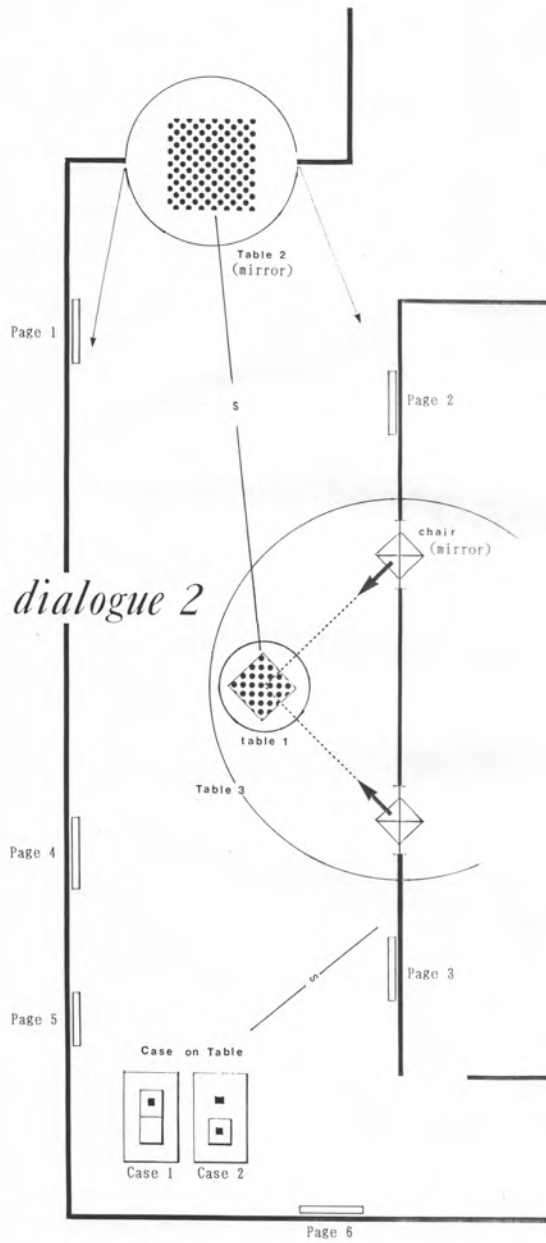
見テイルノハ影デ 影ダケデアリ
ムコウ側ニ 樹ガアルカドウカハ 知リエナイ

— むこう側に 樹がないのなら
そこには 何があるの？

dialogue 2



SETTING:



DATA OF TABLE:

Table 1:
 円形 57(φ直径)×55 cm (blue)
 チェス盤 : 33×33 cm
 scrabble words : VEIL, VOICE, FACE, TRACE
 COURT, PIECES, TABLE, CHESS
 SCRABBLE, DIALOGUE.

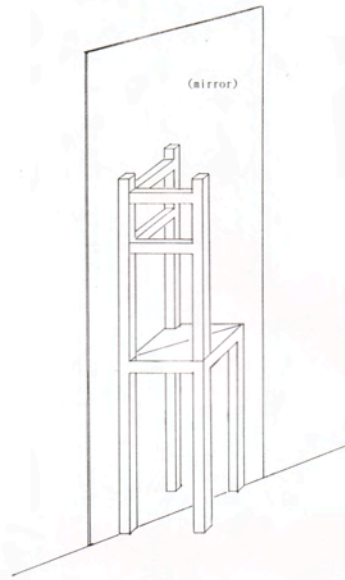
Table 2:
 円形 - 直径120 cm (mirror)
 チェス盤 : 60×60 cm
 scrabble words : VEIL.....

Table 3:
 半円形 - 直径300 cm (pink)

DATA OF PAGE:

Page 1: 410×580 mm
 Page 2: 410×580 mm
 Page 3: 410×580 mm
 Page 4: 841×594 mm
 Page 5: 297×420 mm
 Page 6: 410×580 mm
 (本"Veil"からの引用)

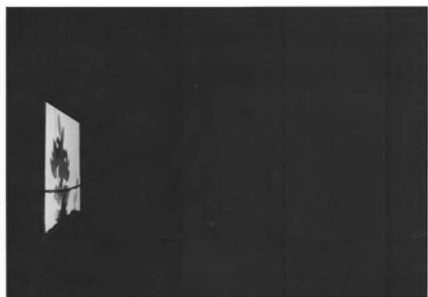




chair : 30×30×120 cm (その半分は鏡像)
mirror : 50×170 cm



Page 2:



— 声が聞こえてくる
微かに・・・

Page 3:



Page 4:



たぶん・・・。

Page 5:



或いは ひとつの同じ窓を持つ 幾つかの部屋で・・・



話す・・・黙りこみそうになりながら
沈黙に飲み込まれる ほんの間隙で・・・
私達のことばは
そこへと 向かう
私と あなたの間
そこ・・・

Case 1:

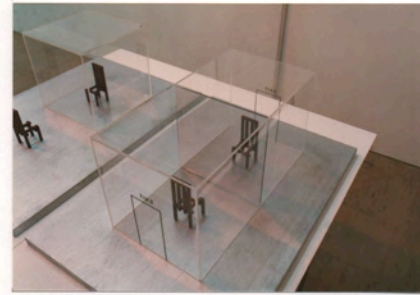


photo 1

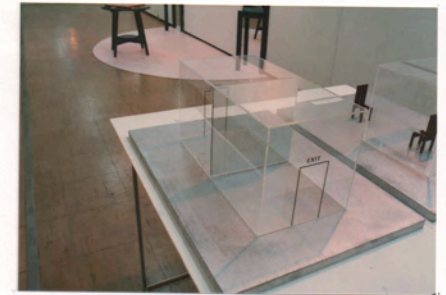
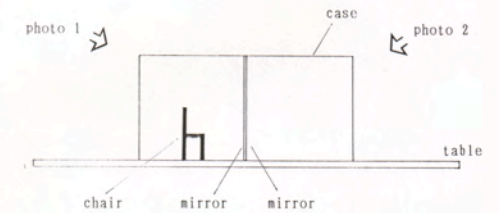


photo 2

DATA OF CASE :

透明アクリルの直方体 20×20×40 cm
表面に文字(univers.65.30pt)「EXIT.EXIT.」
直方体の中央に鏡面板の仕切り 20×20 cm
<case内、片方の部屋に椅子1脚>
chair : 4×4×10 cm (red)

table上に紙片
「声が聞こえる・・・
私の？ それとも あなたの？
あなたは そこにいるの？」



Case 2:

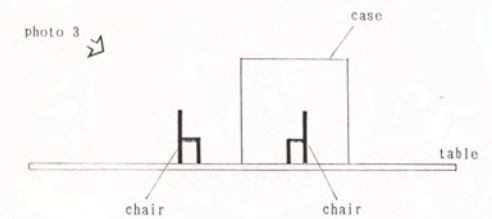


photo 3

DATA OF CASE :

透明アクリルの立方体 20×20×20 cm
<case内と 外部に相対して椅子、各1脚>
chair : 4×4×10 cm (red)

table上に紙片
「あなたの声が きこえる・・・
でも・・・あなたは 何処にいるの？」



dialogue 3



ひとつの部屋が あるだろう。

四角い部屋。

部屋の片すみ、鏡の前には

丸テーブルが わずかにほこりを被ったまま

置かれている・・・

紙片(声) 1



— 何か お話して欲しいの。

— どんな話をすればいいの？

— 何か・・・そう、どこにでもあって それでいて
どこにあるとは決して言えない様な・・・
飽き飽きするほど身近でありながら
私達から遠く隔たれている・・・

— 身近でありながら 隔たれて・・・
わたしの目の前にいるあなたのように？

— ええ、そして あなたの目の前のわたしのように・・・

紙片(声) 2



— では わたしとあなたの間にある隔たりを
話せばいいのだろうか？

— 隔たり？ いいえ、そうじゃないの。

わたしから あなたへの隔たり、そして それとは決して
重ならない、あなたから わたしへの隔たり。
その隔たりを・・・話して欲しいの。
きっと・・・そう、わたしの話して欲しいのは
あなたが わたしに話しかけること、
そのことをなにかもしいない・・・

紙片(声) 3



-- 忘れてしまいたい。私のことを すべて。
けれど そのためには
忘れようとしてはならないの・・・
すべてを 思い出さなくてはならないんだわ。

-- あなたが 私を物語る・・・
それは 私を思い出し
そして 忘れること。

-- 何か お話して欲しいの。

紙片(声) 4



ごらん ふたりが同じ出来事を
別々に身につけ 別々に理解するのを
それはまるで異なった時間が ふたつの
同じ部屋をよぎってゆくかのようだ

.....

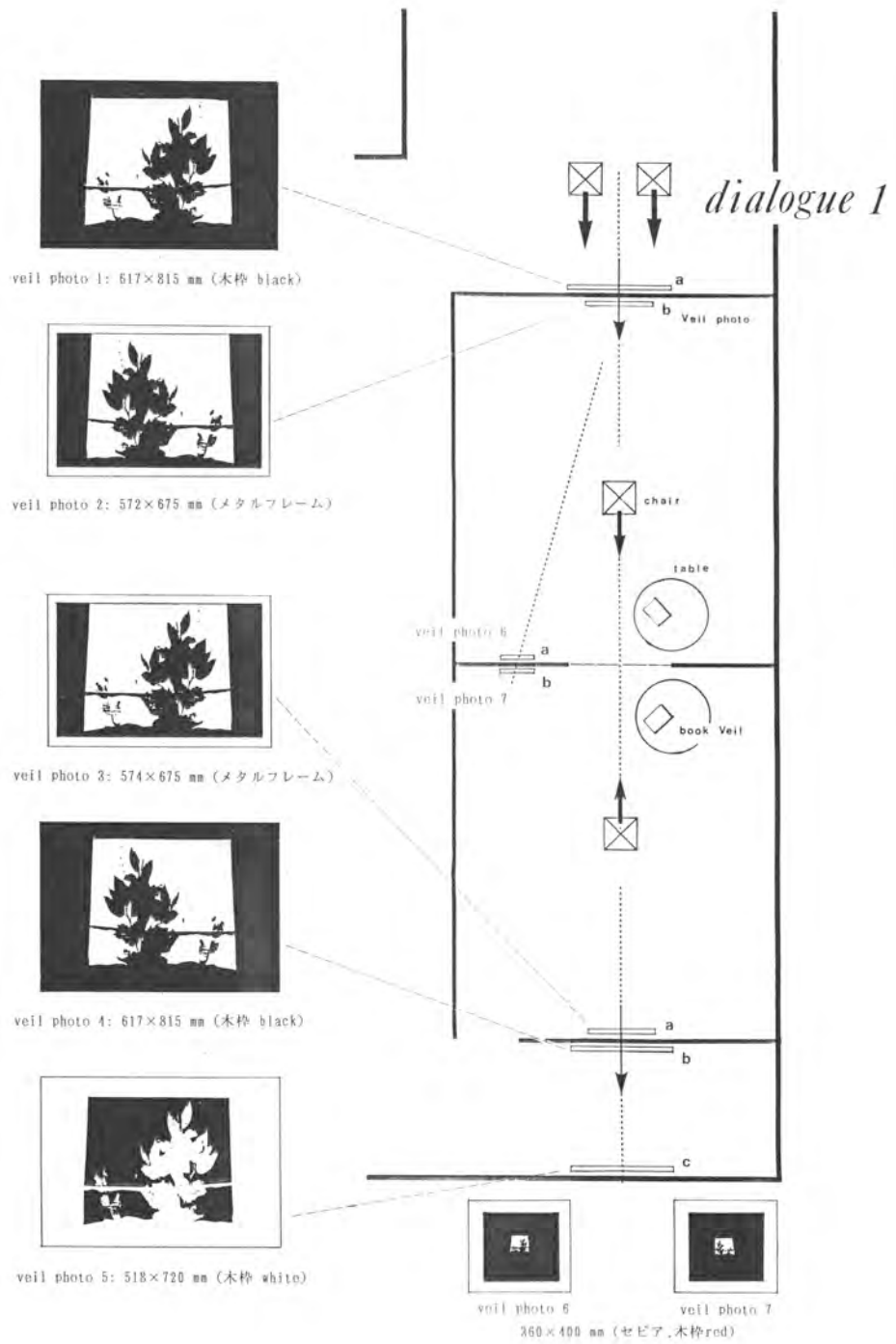
Rainer Maria Rilke 『姉妹』

紙片(声) 5

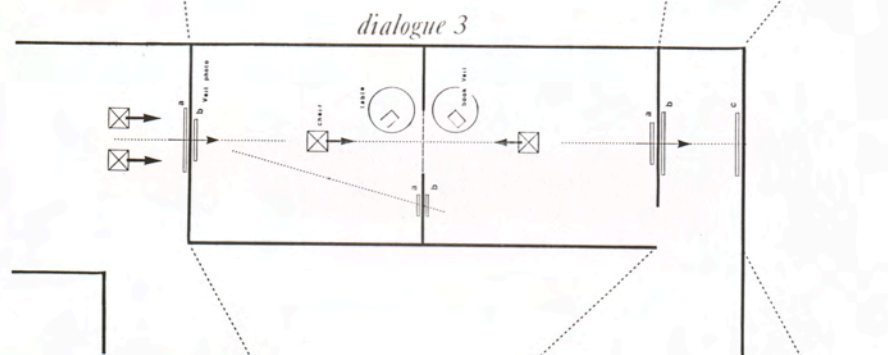


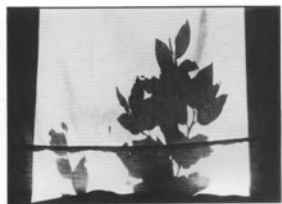
dialogue 1





dialogue 1





— ねえ むこう側には
何があるのかしら？

むこう側には 何かがあるのだろうか

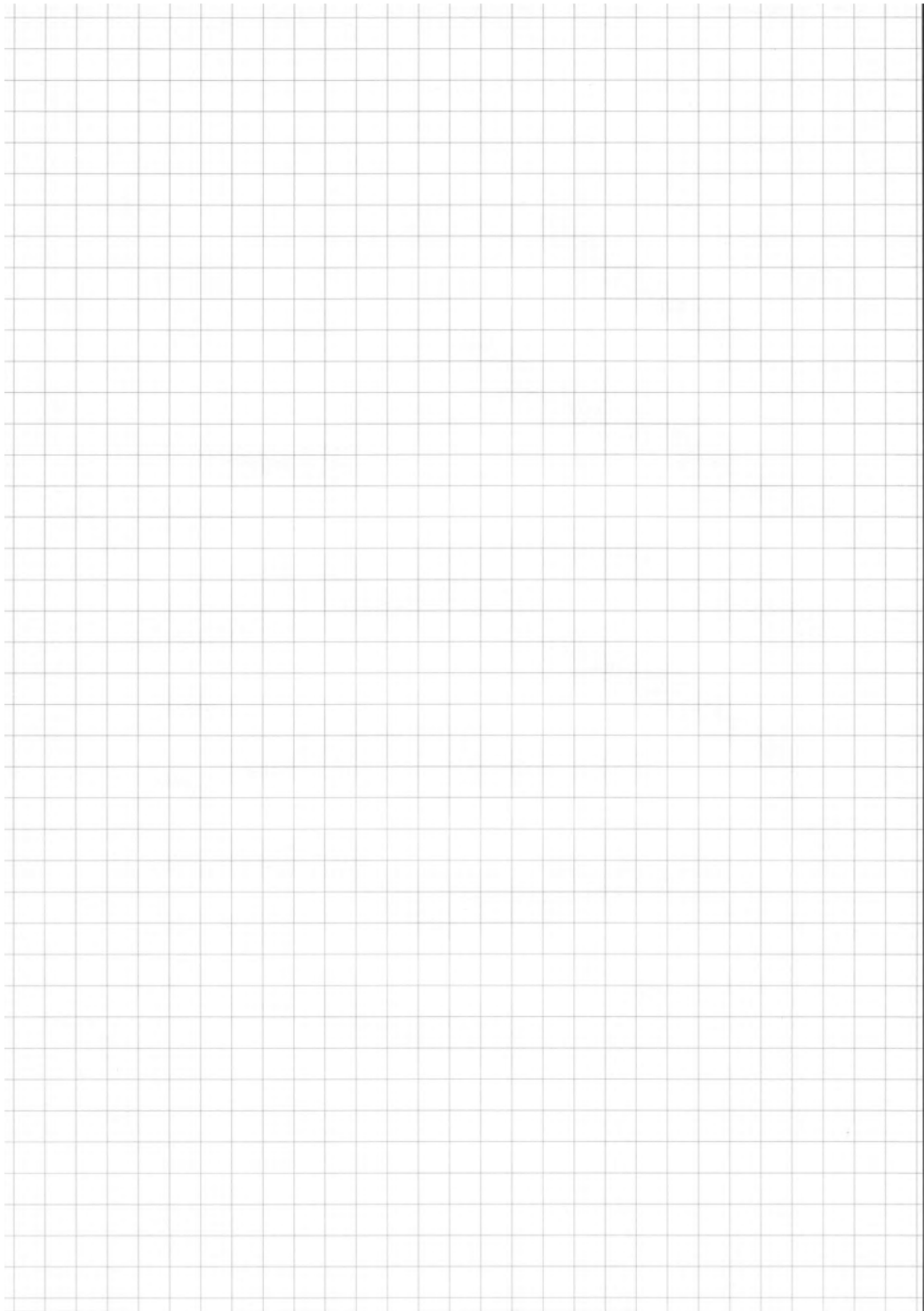
— なにも ない？

なにもないのではなく あると言うことが できない

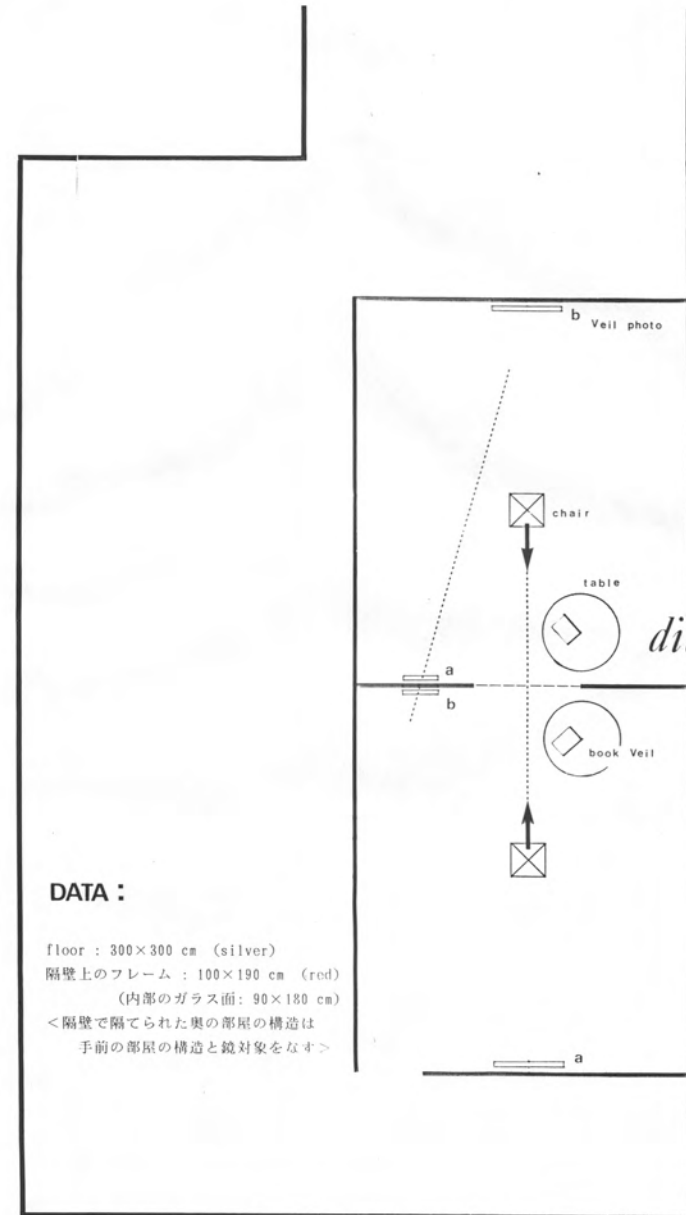
— ない と言うことも？



むこう側というものが ないとしても
あの影の むこう……そう
たぶん 『むこう』という言葉だけが……



SETTING :



DATA :

floor : 300×300 cm (silver)
隔壁上のフレーム : 100×190 cm (red)
(内部のガラス面: 90×180 cm)
<隔壁で隔てられた奥の部屋の構造は
手前の部屋の構造と鏡対象をなす>

DATA OF ROOM:

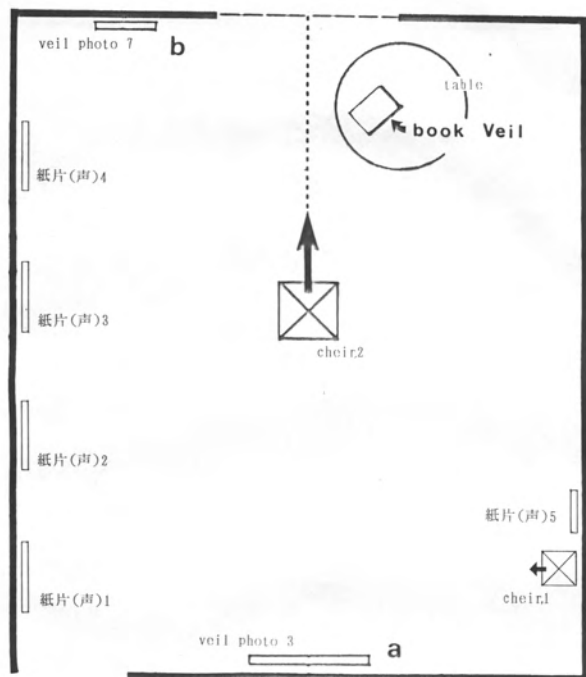


table : 80(直径)×60 cm (red)
 机の上に メトロノーム(red), 丸底フラスコ(水), 本"Veil"
 cheir 1: 25×25×120 cm (red)
 cheir 2: 高さ76 cm (red) ... [dialogue 1]の椅子(black)と同一形態
 紙片(声)1~4 : 410×580 mm
 紙片(声)5 : 420×540 mm
 veil photo 7: 360×400 mm (セビア, 木枠red)
 veil photo 3: 572×675 mm (メタルフレーム)

記 録

RECORDING
 NUMBER

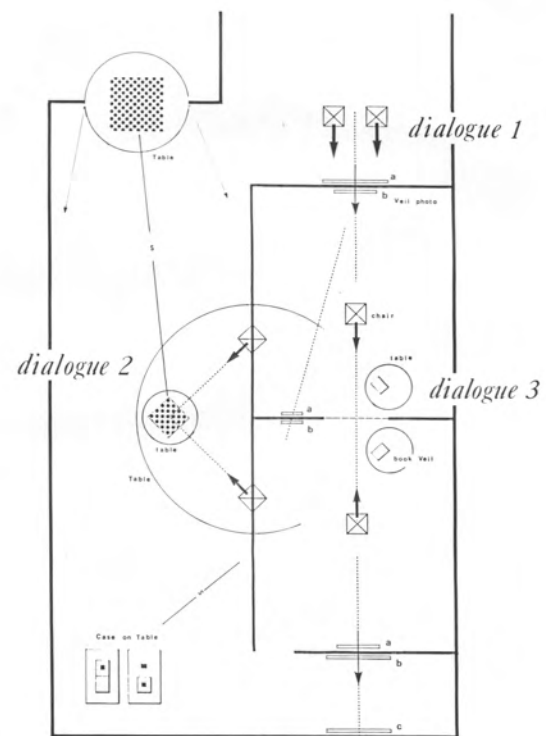
no. 7
 「Veil」という名の本

DATE

1986.7.1.(TUE) ~ 7.6.(SUN)

PLACE

galerie 16



RECORDER

MIHOKO KOSUGI & YASUHIKO ANDO

記 録

RECORDING
NUMBER

no. 7
「 Veil 」 という名の本

DATE

1986.7.1.(TUE) ~ 7.6.(SUN)

PLACE

galerie 16

Veil という名の本

BY

MIHOKO KOSUGI & YASUHIKO ANDO

MIHOKO KOSUGI & YASUHIKO ANDO



記 録

RECORDING
NUMBER

no. 1
「 Veil 」

THE DATE OF
PUBLICATION

1986.7.1.

Veil

THE FIRST
EDITION

BY

MIHOKO KOSUGI & YASUHIKO ANDO

RECORDER

MIHOKO KOSUGI & YASUHIKO ANDO



